

平成 28 年度 糸魚川市教育研究会図工・美術部 活動報告

部長 富永 清文

1 研究・活動のねらい

児童生徒の実態や地域の実情に即して課題を明確にし、それに基づいた研究を推進する。また、学習指導要領の趣旨を踏まえた図工・美術教育の振興を図る。

2 研究・活動の概要

- (1) 会員の図工・美術教育についての理解と指導力の向上を図る実践的研修の実施
- (2) 地域における美術教育の振興を図る市児童生徒図工・美術作品展の開催

3 研究の実際

(1) 実技講習会

- ①日 時 平成 28 年 8 月 5 日(金) 13:00～16:00
- ②会 場 糸魚川市立青海中学校 美術室
- ③講 師 上越市小林古径記念美術館 学芸員 長井るり子 様
主任 市川 高子 様
- ④テーマ アート体験プログラム「遊んで☆日本画」
- ⑤概 要 小林古径記念美術館の施設や事業、学校と連携する講座等について紹介していただくとともに、日本画の画材、日本画と油絵の制作工程の違いなどを、具体物を通して教えていただいた。また、岩絵の具や金銀箔を用いて実際に日本画の技法を体験したり、小林古径の原寸大複製画を用いて対話型鑑賞を体験したりした。

(2) 授業研究会

- ①日 時 平成 28 年 10 月 14 日(金) 11:00～16:45
- ②会 場 糸魚川市立青海小学校
- ③指導者 全体指導：横浜国立大学教育人間科学部准教授 大泉 義一 様
分科会Ⅰ：上越市立八千浦小学校校長 細井 一貞 様
分科会Ⅱ：上越市立小猿屋小学校校長 梅澤 崇 様
- ④授業者 3 年生：青海小学校 細野 朋子 教諭
5 年生：青海小学校 樋口 英樹 教諭
- ⑤題材名 3 年生：「つなげて ひろげて くみくみ大工場」
5 年生：「思いを形に 名引山ハート・アートプロジェクト」
- ⑥概 要 県小学校教育研究会の指定を受けている青海小学校の 3 年次研究大会への参加という形で実施した。研究主題「かかわりづくりだす力を培う 図画工作科授業の創造」に基づく上記の授業を参観し、分科会では、ワールドカフェ方式による活発な協議が行われた。指導者の先生方からは、図画工作科授業における課題や指導・支援・評価等のポイント、今後求められる図画工作科の授業づくりなどについて丁寧にご指導いただいた。アトラクションとして、全校児童による「造形パレード」や「ギャラリートーク」も行われ、児童とのかかわりをとおした作品鑑賞を行うことができた。

(3) 市児童生徒図工・美術作品展

- ①期 日 平成 28 年 11 月 12 日(土)から 11 月 14 日(月)
- ②会 場 青海総合文化会館 きらら青海
- ③概 要 市内の児童生徒が普段の授業やクラブ活動、課外活動等で制作した平面作品、立体作品、計約 500 点を展示した。地域の図工・美術に関する大切な行事として定着しており、3 日間で 1100 人以上の方に鑑賞していただいた。

4 成果と課題

今年度は、美術館の学芸員を招いて実技講習会を行い、美術教育についての理解とスキルの向上を図ることができた。今後も、実技講習会と美術鑑賞会を隔年で実施していきたい。図工・美術作品展は、前年度の反省を生かして改善を図り、作品の出品点数が大幅に増えた。訪れた方からも温かい感想を多くいただき、保護者や地域の方の理解と関心を高めることができた。授業研究会は、これまで 3 年間、青海小学校の研究への参加協力という形で行ってきて成果も大きかった。次年度以降は、その成果を生かして、新たな取組を計画したい。